てんぞ新聞

'92.7 No181
発行責任 市原敏夫
0883-88-5292

山が荒れる

昨年来頃より、山に看板を何けはじめた。登山シーズンになり、この看板でちまたに問題になっていにくネット上でレそうで。

十年位前の状況だと、入山するなんの看板なんか建てたことありません。誰も看板なんか建てません。でも、祖谷で暮らす私達にとっては、祖谷の山々は、山であっても生活空間です。水源地だけでなく、様々な生活する場である事に違いはありません。

だから、自分達でなんとかするしか方法はないのです。

山は誰のものでもないという山歩きの人もいるかも知れません。しかし、私有地が公共の土地か、誰かの持物です。仮に誰のものでもなかったとしても、誰のものでもない山を個人が好きにして良いという事がありましょうか。

山を楽しむ方法も、いろいろありますが祖谷の山を楽しんでいる皆さんは、多くの人でも過言一回。私達祖谷の住人は、ここで生活しているのです。暮らしていかなければいけないのです。どんなに荒れても、ここで生活しなければなりません。

人も荒れる

なければ、看板なんていうものが建つ事が続けばぜんとかしようと対策を考えるでしょう。

山が荒れていくのは確かに山が荒れてるのはぜんとかしようとするでけではないでしょう。が、いずれにしても人の営みが大きな影響をもたらしているのはそれが認めることでしょう。

祖谷の人だって、山を荒してしまおうと自然に対する考えは、おかしいと後退してるというか、無関心の人が多くなってるのは、この記者に「こえな記事を書くと山が荒れてしまう」等問うとこの記者さんはつあの事は責任がなく、どうするかは地元の皆さん人が考える事」だと言ったそうです。

この記者さんは、よく登山もしていると、本も出ているという「山愛好家」です。

この記者さんの言う通り、祖谷の山は、祖谷の人がどうすればよいのかを考え、対処するてないのです。

だから、勝手に宣伝もしてほしくないし、祖谷の山野草も、山を楽しむ人達も、祖谷が荒らす私達もどうすればよいのかを一緒に考えないと、山の荒れは防げません。

もっと植林をここにのも山の荒れの原因である事も否定出来ません。宣伝も又原因の一つとなります。

祖谷の山は許せないというのを変えはないでしょうか。

数十年前、下新聞の記者と○○クラブの皆さんである山を調査したら、多数同じ山にある事が判明し、新聞に大きく載ってました。

ある人が、この記者に「こえな記事を書くと山が荒れてしまう」等問うとこの記者さんはつあの事は責任がなく、どうするかは地元の皆さん人が考える事」だと言ったそうです。

この記者さんは、よく登山もしていると、本も出ているという「山愛好家」です。

この記者さんの言う通り、祖谷の山は、祖谷の人がどうすればよいのかを考え、対処するてないのです。

だから、勝手に宣伝もしてほしくないし、祖谷の山野草も、山を楽しむ人達も、祖谷が荒らす私達もどうすればよいのかを一緒に考えないと、山の荒れは防げません。

もっと植林をここにのも山の荒れの原因である事も否定出来ません。宣伝も又原因の一つとなります。